



東光だより

子どもが煌めく東光中学校

学校教育目標

志 絆

【めざす生徒の姿】

- 将来の夢や理想を追求する生徒
- 感謝の心を忘れない生徒
- 学び続ける生徒
- 自らの責任を果たして社会に貢献できる生徒
- 命と愛を大切にしている生徒

【学校ブログ】



岩見沢市立東光中学校 学校便り
 令和8年1月23日 No.11
 発行責任者 校長 木内 一樹

「飛躍の準備を」

校長 木内 一樹

保護者・地域の皆様におかれましては、清々しいお気持ちで新年を迎えられたことと拝察いたします。ご承知の通り、令和8（2026）年は午（うま）年です。馬は本来、常に前進する動物であり、後ろを振り返らずに前へと進むその姿は夢に向かって突き進む人の象徴でもあります。新しい年のスタートに際し、「挑戦」「飛躍」「進化」などポジティブなイメージを重ねるにはまさに理想の干支と言えます。本校が紡いできた輝かしい歴史と伝統を重んじるとともに、新たな時代に相応しい教育の在り方を模索し、必要な変化やアップデートに一層真摯に努める年にしたいと考えます。



さて、今年はスポーツのビッグイベントが目白押しです。2月のミラノ・コルティナ冬季五輪を皮切りに、3月には野球世界一を決するWBC、6月にはサッカー世界一を決するワールドカップと続きます。いずれの競技においても、日本を歓喜させる最高の結果が得られることを期待したいと思っておりますが、そのためには準備が極めて大切だと前回のWBCを制した栗山前監督が語っていました。彼が具体的に言及していたのが、大会前に行った「宮崎合宿」のことでした。世界一の技術をもった選手がただ集まっても勝てない。国を背負うことの意味や勝利を収める意味を真に理解し、自己犠牲も含めた戦術を全選手が実践できること…すなわちチームとしての成熟が、宮崎合宿の意義だったのです。「優勝という果実は、宮崎合宿という準備によってもたらされた」と言えましょう。

準備が大切なのは何も野球やスポーツに限った話ではありません。冬休みが明け、後期後半の学校生活がすでにスタートしていますが、2か月半後にはそれぞれが新しいステージに身を置いているはずで、3年生はもう本校が母校になっています。2年生は最高学年となります。1年生も本校で初めて後輩ができる立場です。その時に焦ったり慌てたりしないためにも、真摯にそれぞれの「準備」に向き合ってほしいと願っています。私たち教職員も一丸となってそれぞれの子どもの「準備」を応援し、健やかな成長を支えていきたいと考えますので、本年も引き続き保護者並びに地域・関係者の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

身に付けさせたい

資質・能力

自分で考える力



考えを表現する力



自他を大切にする力



失敗に負けずにチャレンジする力



令和7年度も大詰めです

令和8(2026)年が始まりました。保護者の皆様、地域の皆様、本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、降雪も少なく比較的穏やかな冬休みでした。大きな事故の報告もなく、無事に教育活動を再開することができました。ご家庭・地域の皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。

3年生は最後の定期テストを終え、いよいよ次の舞台に向けての準備が本格化します。公立高校の入学選抜は右表のような日程で進みます。全員が志望校に合格するために、学校とご家庭が強力な連携で、受験生を支えていきましょう!3年生の皆さんには、第一に体調管理、そして学習に向かう時間はもちろんのこと、残り少ない中学校生活での仲間との何気ない時間を大切にしてほしいと思います。1・2年生はこの学年で学習したことを定着させるために復習を進め、今後3月までに3回のテスト・検査に臨みます。4月の進級に向けての「準備」もしなければなりません。最上級学年、中堅学年になる自覚を持たせられるよう支援してまいります。

3年生 公立高校等入学試験日程	
1/19(月)~22(木)	願書受付
1/30(金)	特別支援学校入試
2/10(火)	推薦入試
2/12(木)	特別支援学校合格発表
3/4(水)~5(木)	学力検査・面接等
3/11(水)	追検査
3/12(木)	卒業証書授与式
3/17(火)	合格発表
1・2年生 テスト等日程	
2/4(水)	学力テスト(第4回)
2/20(金)	後期期末テスト
3/19(木)	標準学力検査(NRT)
3/25(水)	修了式

募金へのご協力ありがとうございます!

生徒会のボランティア活動の一環として、募金活動やリングプル収集活動をしています。今年度は2回ある募金活動のうち、「赤い羽根共同募金運動」に絞って活動を行いました。12月8日からの5日間、生徒会役員が玄関で呼びかけを実施し、14,851円の募金を集めることができました。ご家庭のご協力に感謝申し上げます。集まった募金は12月23日(火)に岩見沢市社会福祉協議会へお渡ししました。同時に集まっていたリングプルもお渡ししています。



ネットトラブル防止教室を開催しました

冬休み前の12月23日(火)に岩見沢市青少年センター所員である佐々木亮氏によるネットトラブル防止教室を開催しました。情報モラルにかかわる教室は6月に続いて2回目となります。本校の生徒同士のトラブルには多くの場合、SNSなどのネットトラブルが付随しています。少しでも「自分ごと」にするために、各学年で計3回の授業を行いました。授業の内容は以下の生徒の振り返りから推察ください。



【1年生】

普段あまり考えずに、軽い気持ちでインターネットを使用していたが、インターネットは楽しい反面、様々な情報が蔓延っているため、とても危険なものなのだとわかった。だが、利用規約などをしっかりと確認して正しく使用することでトラブルも防げるし、自分が相手を傷つけるようなこともしないと。そもそも私たちはまだ子供なので、トラブルを避けるために投稿することは控えたほうがいいと思った。インターネットは大人だけでなく子供も使用するようになって、我々の生活にとっても身近なものとなってきて、子供が誤った方法で安易に使用しトラブルが起きているので、しっかりと使用方法を理解し、正しく、そして楽しいインターネットライフを過ごしていきたい。

【2年生】

世の中には便利だけれど、使い方を間違ったら危険になるものが多いことに気づいた。人間の心理や行動の特性を悪用して、犯罪に巻き込む方法も沢山あることを知った。スマホなども結局最終的には自己判断、倫理観によって左右されると学んだ。スマホとかネット関係には疎いので、そういうのにかかわらないのが1番だけど、しっかり考えて利用しようと思った。トラブルは年齢に関係なく起こるので、この授業を経てさらに気を付けようと思った。

【3年生】

インターネットは身近にある物だからこそ細心の注意をはらって扱うものだと思っていました。他にも、確かに「自分なら…」みたいな根拠のない自信、思い込みでインターネットを使っていることがよくあるので。スマホに関する考え方、捉え方を考え直す必要があると思いました。必ずしも絶対被害者や加害者にならない根拠はないので、使い方、発言、どれをとっても気を付けようと思えます!

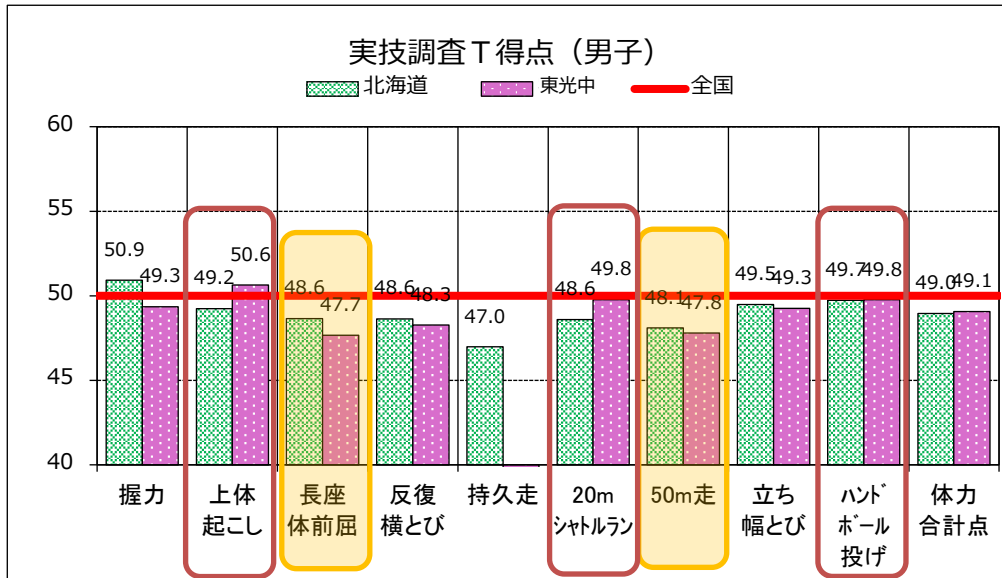
心のブレーキの大切さがわかった。わかっているけど行動に移してしまったり、楽しいだけの気持ちで動いてしまうなどネットではよく見る行動だけど、それを自分がしないようにこれからは今日学んだことを大切にしていきたい。ネットには危険が沢山あるから自分のストーリーとかに危ないものがないかきちんと確認する習慣をつける。

生徒の体力、運動能力の状況は？

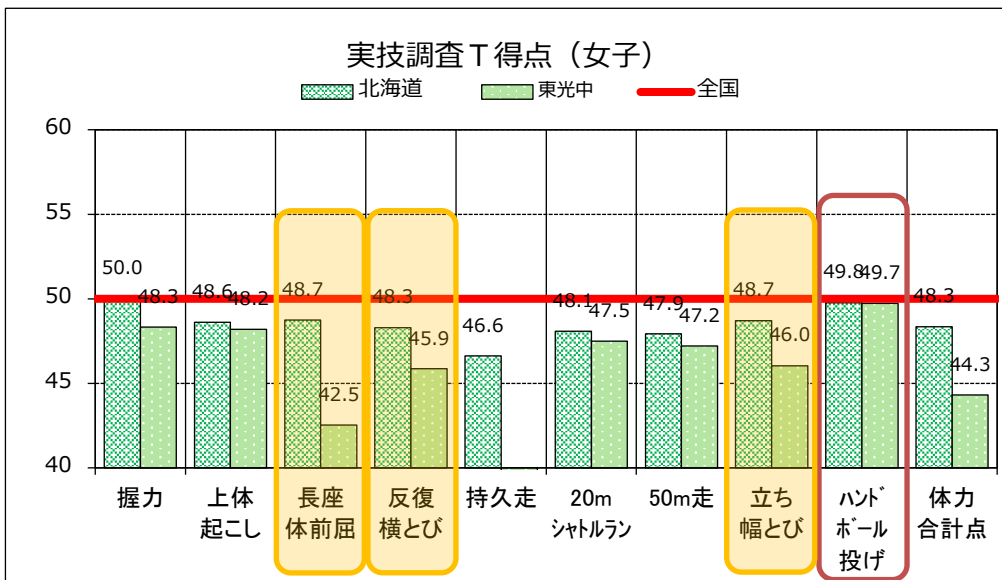
今年度6月末から7月にかけて本校第2学年で実施した全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の概要をお知らせします。調査は実技調査、質問紙調査で行われました。下記にある「T得点」とは、全国平均値50に対する相対的な位置を示した標準得点(棒グラフの左側が北海道の平均、右側が東光中の平均)です。

【次ページに続く】

【実技調査】 ※持久走と20mシャトルランは選択です



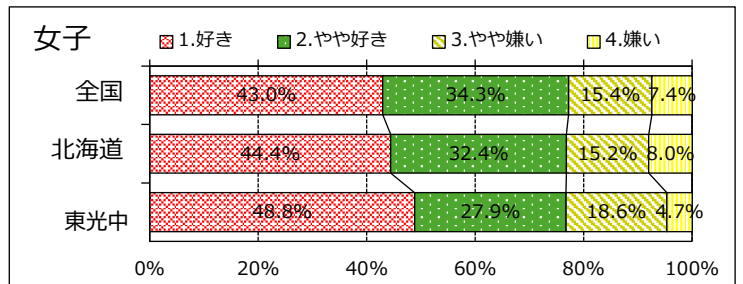
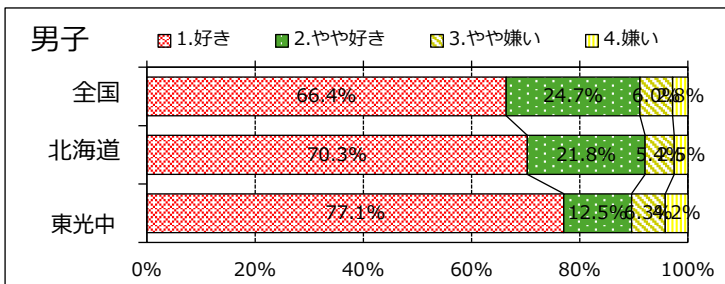
- 男子は上体起こしが全国・全道平均を上回り、シャトルランが全道を上回っています。
- 男女ともにハンドボール投げが全国・全道平均とほぼ同様の全国平均となっています。ただし上位と下位の差が大きい状況になっています。
- 男女ともに長座体前屈が全国・全道平均と比べ大幅に低くなっています。柔軟性に課題があります。



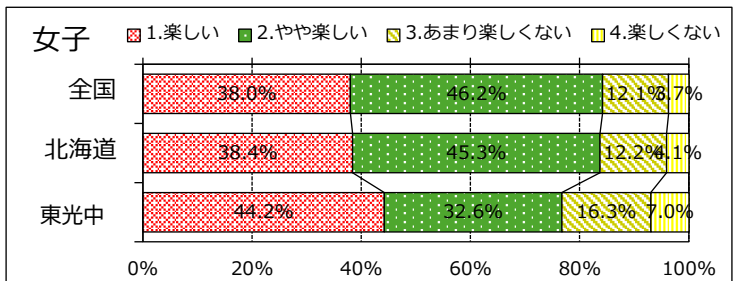
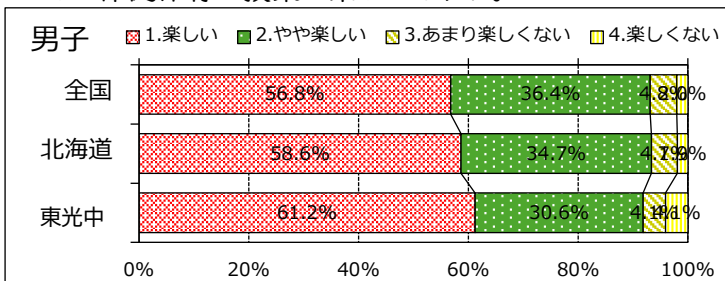
- 体育科の授業の中で年2回の体力テストの実施、その結果分析を通して課題の改善に迫ってまいります。
- 生徒会活動などの行事で運動する機会を取り入れ、昼休みに自由に体を動かす場所と機会確保を継続していきます。
- ご家庭では登下校時の徒歩を含め「歩くことも運動の一つ」であるという認識を持っていただきますようお願いいたします。

【質問紙調査】(抜粋、質問番号は調査のもの)

Q1 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。

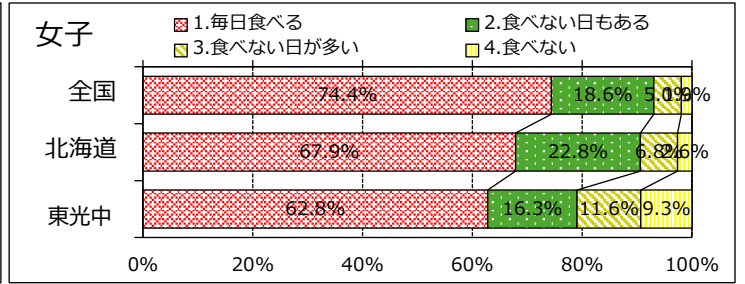
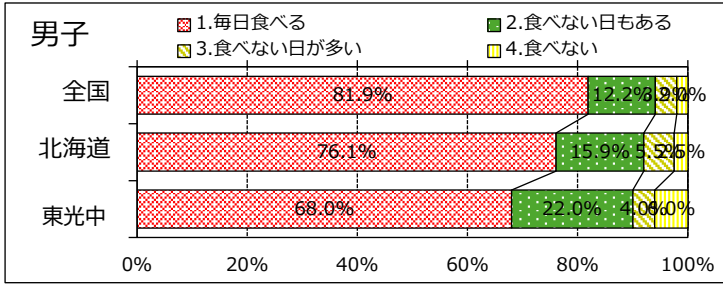


Q9 保健体育の授業は楽しいですか。

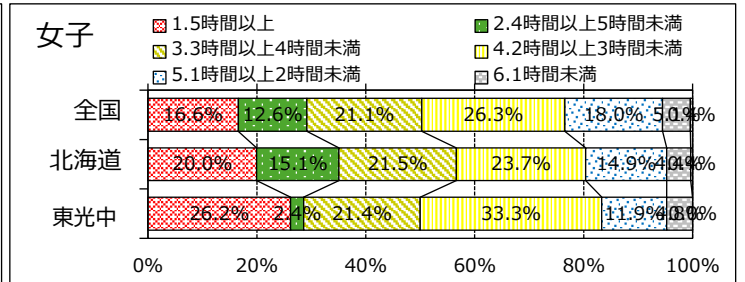
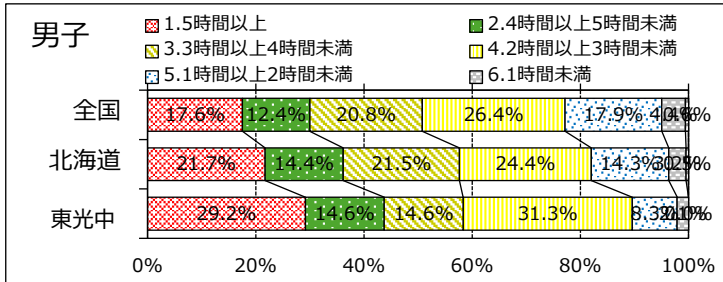


男女ともに運動が好きで、興味・関心が高い傾向にあります。また、保健体育科の授業は男女ともに楽しいと回答する生徒は多いのですが、男子は満足度が高く、女子はできないことができるようになる、記録に挑戦する等を理由に満足度が低い傾向にあります。

Q6 朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含みます)



Q8 平日、学習以外で1日にどれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム、スマートフォン、PC等の画面を見ていますか。



運動だけではなく、朝食をとること、睡眠をとことは、脳が発達する中学生にとって大変重要です。際限なくテレビや動画視聴をしたりしない、スマートフォンを寝床で使用しないなどの家庭内でのルールを決め、朝食をとり、良質な睡眠をとることが子どもたちの健康を守ることにつながり、体力や運動能力、ひいては学力の向上につながるということです。学力については、10/23(木)に tetoru にてご家庭に配付しました「5つの約束」(岩見沢市教育委員会作成)にも詳細が掲載されていますので、そちらを参照ください。

吹奏楽部 頑張りました!

1月17日(土)空知地区管楽器個人・アンサンブルコンテストに本校吹奏楽部の生徒が出場しました。持てる力を発揮した素敵な演奏でした。8月のコンクールに向け、努力を積み重ねていきましょう。出場者は以下の通りです(敬称略)。

【個人の部】

森 希花 (クラリネット) 金賞

*写真は1/12開催の「冬の演奏会」にて撮影したものです



【アンサンブルの部】

☆管楽七重奏 銀賞

青山真弥華 (Tp) 谷藤 咲希 (Tp) 五十嵐心音 (A.Sax)
佐藤 想介 (Cla) 鈴木 美琴 (B.Sax)
水本 琉菜 (Eup) 藤本 絢士 (Tub)



☆管楽八重奏 銀賞

小林さくら (Fl) 松川 瑞希 (Cla) 氏家 日菜 (Cla)
濱崎 和 (Hr) 嵯峨 心乃 (T.Sax) 市村龍之介 (Tb)
後條 美咲 (B.Cla) 遠藤凜太郎 (Cb)



2月行事予定

*年間行事予定を配付していますが、こちらでもご確認ください

- 3日(火) 1年スキー授業
- 4日(水) 1・2年学力テスト、新入生保護者説明会(東小)
- 5日(木) いじめアンケート
- 10日(火) 公立高校推薦入試
- 11日(祝) 建国記念の日
- 12日(木) 私立高校入試(A日程)~13日

- 13日(金) 全校議会・常任委員会
- 17日(火) 私立高校入試(B日程)~18日
- 20日(金) 1・2年後期期末テスト、特支卒業を祝う会
- 23日(祝) 天皇誕生日
- 27日(金) 特支3年生を送る会

【スクールカウンセラー来校日】2月3日(火)・24日(火)13時~16時→予約は学校へお願いします。



《校訓「四つの光」》
「知」の光…磨かれた知性
「愛」の光…美しい心情
「行」の光…徳行と技術
「健」の光…すぐれた健康

《教育目標》
自ら真理を求め、進んで学び、よく考える。
自らあたたかな心を養い、友をいたわり、よく助け合う。
自ら働く喜びを求め、責任を持って行動する。
自ら健康に関心を持ち、気力に満ちた心身をきたえる。

《中央ブロック CA スローガン》 地域・家庭・学校が Win&Win のお付き合い～学校っていいな!地域っていいな!

令和 7 年度 学校評価アンケート結果から見える本校の姿

保護者の皆様、今年度の学校評価アンケートにご協力いただき、心より感謝申し上げます。今年度は、「学校が楽しい 85%」の実現をテーマに、教育活動の改善を進めてきました。分析の結果、学校全体への肯定的な評価は、概ね 80%前後と非常に良好な結果となりました。特に「温かい人間関係づくり」や「個性尊重・相談の丁寧さ」が生徒の学校生活の楽しさを支える基盤となっていることが明らかになりました。一方で、2年生の「中だるみ期」にみられる、一時的な評価の揺らぎなど、次年度に向けて重点的に取り組むべき課題も見えています。

この結果の詳しい内容と考察については「八木橋 毅」主幹教諭が解説しますので、ぜひご覧ください。学校としては、この評価を真摯に受け止め、「挑戦・創造」の姿勢のもと、よりよい学校づくりに努めてまいります。校長 桐淵 則行

一 生徒・保護者の声を通して考える「つながる教育」と今後の方向性



日頃より、本校の教育活動に対し、深いご理解と温かいご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本校では例年通り、生徒および保護者を対象に学校評価アンケートを実施し、今年度の学校生活や教育活動を振り返りました。本号では、両者の声を重ねて結果を整理し、安心感や人間関係など本校の強みとして確認できた点と、学年の成長段階により課題が表れやすい点をまとめ、次年度に向けた学校づくりの方向性をお伝えいたします。(主幹教諭:八木橋 毅)

1. 「学校に楽しく通うことができたか」 - 生徒と保護者の評価はどう重なっているか

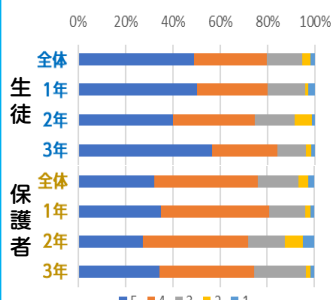


図1で示すように、学校生活全体の満足度に関して、生徒アンケート・保護者アンケートのいずれにおいても、⑩「この半年間、楽しく学校に通うことができたか」は、本校の状況を捉えるうえで中心となる指標です。図1は、この⑩(5段階評価)の回答割合を示したもので、生徒・保護者ともに「とてもそう思う」「そう思う」といった肯定的な回答が大多数を占めています。ご家庭から見ても、お子さんが前向きに学校生活を送っている様子が見え、うかがえます。

全体平均は 3.99、生徒アンケートの全体平均は 4.21 となりました。両者とも高い水準にあり、子ども自身の実感としての「通う楽しさ」と、家庭からの見守りとしての受け止めが概ね重なっていることがわかります。こうした結果は、本校の学校生活が前向きに受け止められていることを示すものと考えられます。

2. 安心感と人間関係 - 2者評価が強く一致している領域

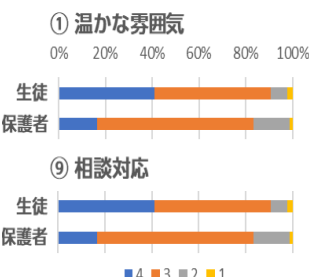


図2で示すように、生徒・保護者の評価が共通して高いのが、「安心感」や「人間関係」に関わる領域です。保護者アンケートでは、①「温かな雰囲気」は4段階評価で平均 2.99、⑨「相談対応」は平均 3.23 と、いずれも安定して高い値を示しました。特に①は、質問⑩「この半年間、楽しく学校に通うことができた」との結びつきも比較的強く、学校生活の満足度を支える土台として働いていることがうかがえます。学校に「行きたい」と感じられる背景には、学習内容だけでなく、日々の人間関係の中で安心して過ごせる感覚があることを示す結果と言えます。

生徒アンケートにおいても、①「温かい雰囲気」(平均 3.30)、⑨「相談対応」(平均 3.52) はいずれも高い評価であり、学校や学級が「安心して過ごせる場」として機能していることが、生徒の声からも確認できます。困ったときに話を聞いてもらえるという感覚は、子どもが挑戦したり学び直したりするための前提条件でもあります。生徒と保護者の双方が、学校の雰囲気や相談体制を肯定的に捉えている点は、本校が大切にしてきた「つながりを基盤とした学校づくり」が、日常の学校生活に着実に根づいていることを示しています。

加えて学年別に見ると、①「温かな雰囲気」は生徒では3年生で最も高く、保護者も概ね高水準です。一方で2年生では保護者①がやや低めで、成長段階に伴う揺らぎがうかがえます。ただし⑨「相談対応」は生徒・保護者ともに各学年で高い水準を維持しており、支えを得られる安心感が共通して確保されていることが示唆されます。今後も、日常の関わりや相談の場面を学校だより等でお伝えし、安心感の土台をさらに確かなものにしていきます。

3. 学習に対する見方の違い - 生徒と保護者の評価がずれる場面

生徒アンケートと保護者アンケートを重ねて見ると、安心感や人間関係のように評価が重なりやすい領域がある一方で、学習への向き合い方(主体性・前向きさ)については、受け止め方に違いが見られます。表1で示すように、⑥「主体的に授業に参加している」では、生徒の平均値は1年生と2年生が概ね同水準で、3年生が高い値を示しました。学年が進むにつれて授業の見通しが立ち、自分の学び方が整ってくることで、「授業に主体的に関わっている」という実感が高まりやすいことがうかがえます。

表1: ⑥ 学年別平均(生徒×保護者)

	生徒	保護者
全体	3.52	3.17
1年	3.48	3.23
2年	3.45	3.03
3年	3.64	3.26

一方で、生徒は授業の中で「分からなさ」や「不安」、周囲との比較を直接感じるため、自己評価がその時々状態に影響されやすい面もあります。これに対して保護者の評価では2年生が相対的に低めとなり、学年差が生徒よりはっきり表れました。家庭からは授業中の細かな様子が見えにくいこともありますが、2年生では学校生活への慣れが生まれる時期でもあり、集中の持続や学習のきまりといった面で、整え直しが必要となる場面が見られることが、家庭の受け止めにも影響している可能性があります。

このような「ずれ」は、どちらが正しいということではなく、立場によって見えている場面が異なることから生じる自然な差です。学校としては、特に2年生の学習の姿勢づくりを大切にしながら、授業の中で「分かった」「できた」と実感できる機会を増やし、「学ぶ楽しさ」につながる授業改善を進めてまいります。

4. 学年の成長に沿って見えてくる学校生活の様子

学年別の平均値(生徒・保護者)を比べると、本校の強みと、成長の過程が学年の発達段階に沿って見えてきます。図3は、学年別に主要項目の平均値を整理したもので、全体としては3年生の値が高く出る傾向が見られます。3年間の積み重ねの中で、授業や行事の意味付けが深まり、教職員との信頼関係や見通しのもとで、自分の学びや生活を整えようとする姿が育ってきていることがうかがえます。

2年生は、1年生・3年生と比べると多くの項目がやや低めに出ています。ただし、数値自体が大きく落ち込んでいるわけではなく、肯定的な水準を保ったうえでの小幅な変化です。この時期は、心身の成長に伴い自立心が強まる一方で、自分や周囲への見方が厳しくなり、評価が揺れやすい学年段階でもあります。学校としては、学級の安心感を土台にしながら、小さな成功体験を積み重ね、前向きさや自信につながる支援を一層丁寧に行っていく必要があると捉えています。

また、全体としては生徒の平均値が保護者より高く出る項目が多く見られました。これは、学校の中で日常的に経験していること(授業での工夫や相談場面など)が、ご家庭には見えにくい面があることも関係していると考えられます。今後は、学校の取り組みや子どもたちの成長の様子がより伝わるよう、発信の工夫を重ねながら、生徒・保護者・学校が同じ方向を見て歩めるよう努めてまいります。

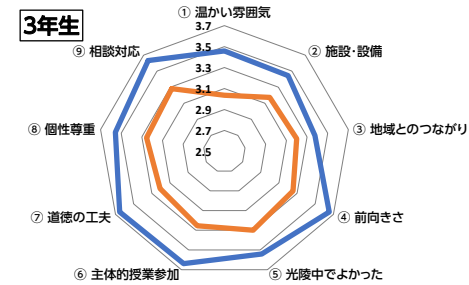
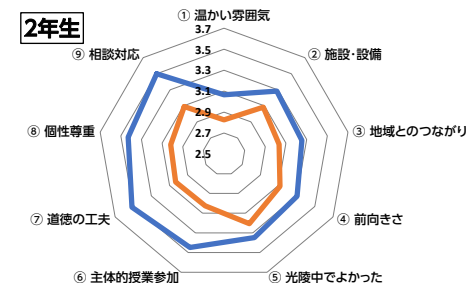
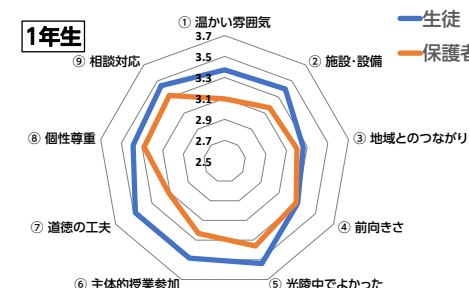


図3: 学年別平均値(生徒・保護者)

5. 学年の進行に伴う学校生活の感じ方の変化

図4で示すように、昨年度と今年度の保護者アンケートを、同じ学年集団として縦断的に見比べると、学年の成長段階に応じた特徴的な変化が見えてきました。単年度の平均値だけでは捉えにくい「時間の流れの中での変化」が、家庭からの視点としてどのように表れているかを把握できる点が、コホート比較の大きな意義です。

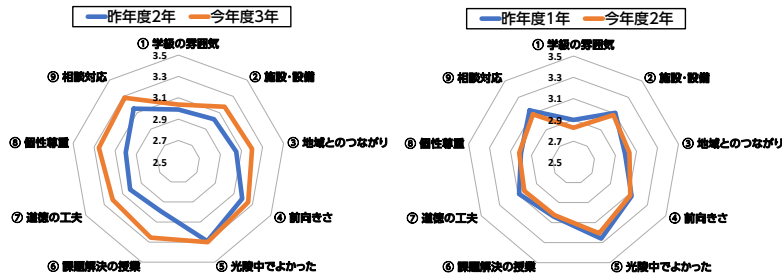


図4: 昨年度→今年度 保護者回答コホート比較

昨年度1年生から今年度2年生へと進級した学年では、いくつかの項目でごくわずかな評価の低下が見られました。「学校の雰囲気」「授業への取り組み」「相談のしやすさ」などで小幅に下がっており、学校生活が安定し始める時期に特有の“揺らぎ”がうかがえます。2年生は、学校生活に慣れて自分なりの考えを強くもち始める一方で、友人関係の広がりや集団の中での立ち位置の変化も起こりやすい時期です。家庭でも、気持ちの波や言動の変化が見えやすくなることもあり、こうした日常の様子も保護者の受け止め方にも反映されたものと考えられます。ただし、いずれの項目も肯定的な水準を保っており、学校生活が大きく不安定になっているというより、成長過程の中で現れやすい自然な変化の範囲と捉えています。

昨年度2年生から今年度3年生へと進級した学年では、ほぼすべての項目で評価が高まる結果となりました。特に学習や人間関係に関わる項目で伸びが見られ、3年間の積み重ねの中で教職員との信頼関係が深まり、子どもたちが「認められている」「成長している」と実感できる場面が増えていることの表れと受け止めています。3年生では、進路を意識する中で目標が明確になり、授業や行事への取り組みにも前向きさが表れやすくなる時期です。加えて、学校生活全体への満足感や、困ったときに相談できる安心感についても評価が高まり、進路を見据えた丁寧な関わりが家庭からも評価されていることがうかがえます。こうした上昇は、日常の声かけや承認、学級・学年での支え合いが積み重なった成果とも言えます。

このように、保護者アンケートの結果から、子どもたちの発達段階に応じて感じ方や評価が自然に変化していることが分かります。次年度に向けては、とりわけ2年生段階で現れやすい“揺らぎ”を前向きな成長の機会と捉え、学習規律と集団の落ち着きを整えながら、小さな成功体験を積み重ねる支援を一層丁寧に進めていきます。本校の強みを土台に、子どもたちが学年の節目を越えて安心して成長できる学校づくりを、今後も継続してまいります。

6. 生徒・保護者の声から見た今後の方向性

生徒アンケートと保護者アンケートを総合すると、本校の強みは、安心感のある人間関係、相談しやすい環境、そして学年を通じた成長の積み重ねにあることが改めて確認できました。とくに「温かな雰囲気」や「相談対応」に関わる項目は2者ともに高い評価が見られ、子どもたちが学校を「安心して過ごせる場」と感じられていることが、家庭からの視点としても裏付けられています。こうした土台があるからこそ、子どもたちは挑戦したり、失敗から学び直したりすることができ、学校生活の満足感につながっていくと考えられます。

一方で、学習への向き合い方(主体性・前向きさ)については、学年によって受け止めの差が生じる場面があり、とりわけ2年生段階では集中の持続や学習のきまりを整える必要性が示唆されました。学校としては、こうした特徴を成長の過程として受け止めつつ、学習への見通しと達成感が得られるよう支援を重ねていくことが重要だと考えています。

次年度に向けては、①安心感を土台にした学級・学年づくり、②短い見通しと達成感を積み上げる授業づくり、③努力や成長を言葉で認める関わり、④家庭と学校の情報共有の充実を柱として取り組みます。生徒自身の実感と保護者の見守りがよりよく重なり、子どもたちが「学ぶ楽しさ」と「成長の手応え」を感じられる学校づくりを進めてまいります。

7. おわりに

学校評価アンケートは、数値の高低を比べるためだけのものではなく、生徒と保護者の声を重ね合わせ、よりよい学校づくりにつなげるための大切な手がかりです。本年度の結果から、本校が大切にしてきた「安心感のある人間関係」や「相談しやすい環境」が、子どもたちの学校生活の満足度を支える土台となっていることが確認できました。

また、学年の進行に伴い感じ方が自然に変化していく様子も見られ、成長段階に応じた揺らぎが生じやすい時期があることも分かりました。学校としては、こうした変化を丁寧に受け止め、授業改善と生徒支援を通して、落ち着いて学び合える環境づくりと成長実感の積み重ねにつなげてまいります。

いただいた声を大切にしながら、家庭と学校がつながって子どもたちの成長を支えられるよう努めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

別表: 生徒・保護者アンケート質問項目

- [質問①] 思いやりや相互理解のある学級風土(学級の温かい雰囲気)
- [質問②] 安全性や整備の行き届いた環境(施設・設備の整備状況)
- [質問③] 地域協力や学習環境の活用(地域とのつながり)
- [質問④] 学習・行事・生徒会などへの積極的参加(学校活動への前向きな姿勢)
- [質問⑤] 光陵中の生徒であることへの肯定感(学校満足感)
- [質問⑥] 自ら考え、答えを共有できる授業スタイル(主体的な授業参加)
- [質問⑦] 生き方を学ぶための道徳授業の工夫(道徳の教え方の工夫)
- [質問⑧] 生徒の性格や考え方を理解し伸ばす姿勢(個性尊重の指導)
- [質問⑨] 生徒の悩みに親身に応じる教員の姿勢(相談対応)
- [質問⑩] 楽しく学校に通うことができた(学校生活の充実感)

(生徒・保護者とも①～⑨は4段階評価、⑩は5段階評価)

★— 2月行事予定 —★

- 2日(月) 1年スキー授業(1・5組) 学費引落日(10)②
- 4日(水) 全学年学力テスト
- 5日(木) 1年スキー授業(2・3組)
- 6日(金) 1年スキー授業(4・5組)
- 10日(火) 公立高校推薦入学面接日 SC来校
- 11日(水) 建国記念の日
- 12日(木) スキー授業予備日
- 13日(金) スキー授業予備日 私立入試A日程
- 14日(土) 私立入試A日程
- 16日(月) 通級面談週間(～20日)
- 17日(火) 私立入試B日程
- 18日(水) 私立入試B日程
- 20日(金) 1・2年後期期末テスト
- 23日(月) 天皇誕生日
- 24日(火) 全協常任委員会⑨(反省) SC来校
- 26日(木) 学費引落日(スキー)①
- 27日(金) 1・2年参観日・保護者会



※参観日当日は教育大さんの駐車場が確保できなかったため、駐車スペースが限られております。ご不便をおかけいたしますが、できる限り公共交通機関等での来校にご協力いただけますと幸いです。

◆□■令和7年度第77回卒業証書授与式について◆□■

本年度の卒業式を3月12日(木)9:00より挙行いたします。本年度より久しぶりに在校生全員が参加する形で実施いたします。卒業生のこれまでの歩みと新たな門出を学校全体で祝福し、心に残る式となるよう準備を進めております。卒業生の保護者の皆様におかれましても、ぜひ会場にお越しいただき、お子様の成長の節目をともに見届けていただければ幸いです。

なお、2月に正式な案内を配付いたします。

《校訓》 強く 正しく 明るく
《キーワード》 チームで創る「共有・協働・貢献」

岩見沢市立緑中学校
学校だより 第11号
令和8年1月30日

緑の沃野
みどり よく や

発行責任者
校長 小野 篤夫

「これだけは身につけてほしい」

「ハイ、ハイ」と返事はしていても、こちらが期待している行動の変化が一向に見られない—そんな場面によく出会います。こちらはしっかり伝えたつもりでも、相手には意図が十分に届いていなかったのか、それとも最初から聞く姿勢が整っていなかったのか…と感ずることがあります。

少し前にもお話ししたかもしれませんが、今から20年前、私が光陵中学校に勤務していた頃、茨城県つくば市で行われた生徒指導に関する研修に参加したことがありました。今では考えられないことですが、全国から集まった約200名の先生方が、約1か月間寝食を共にし、子どもたちの心身の成長にどう向き合うかを学び合う研修でした。10班に分かれ、生徒指導に関する多様なケースを検討し、生徒自身が自分の言動を振り返り、周囲からの助言を受けながら自ら判断できるように導くまでの過程を、毎晩遅くまで議論していたのを思い出します。

その時、埼玉県先生にこう相談したことがあります。

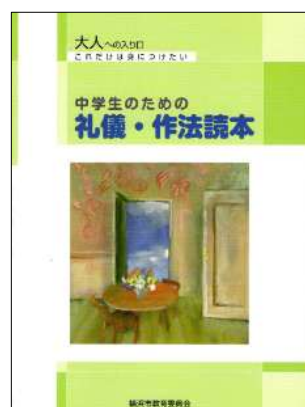
「中学校の3年間で教えられることには限りがあります。社会に出るまでに自然と身に付けておいてほしい所作や振る舞いを、教科書のようにまとめたものはありますか？」

その後、研修から4年ほど経った頃、横浜市教育委員会で編集された冊子『大人への入り口 これだけは身につけたい「中学生のための礼儀・作法読本」』が、その先生から送られてきました。今では絶版となっていますが、岩見沢市の教材店にお願いし、手配していただくことができました。

この冊子を大人になって改めて読むと、「礼儀・作法」について考えさせられる内容が数多く掲載されています。初版は2010年、15版は2021年発行と少し古い部分もありますが、生徒には3年間を通して意識してほしい内容ばかりです。昨年度は生徒会へ、今年度からは第1学年の皆さんへ配付しました。

「礼儀・作法」は、誰かに教えられなければ知らないまま過ごしてしまうものです。しかし、これを知ること自分だけでなく、周りの人たちも気持ちよく過ごせるようになります。

今、3年生は面接練習に取り組んでいますが、所作はすぐに身につくものではありません。学校生活の中には、少し意識するだけで自然と身につく礼儀・作法が数多くあります。卒業を迎える頃に、「あ、いつの間にかできるようになっていたな」と気付ける緑中生であってほしいと願っています。



令和7年度 学校評価アンケートの結果について

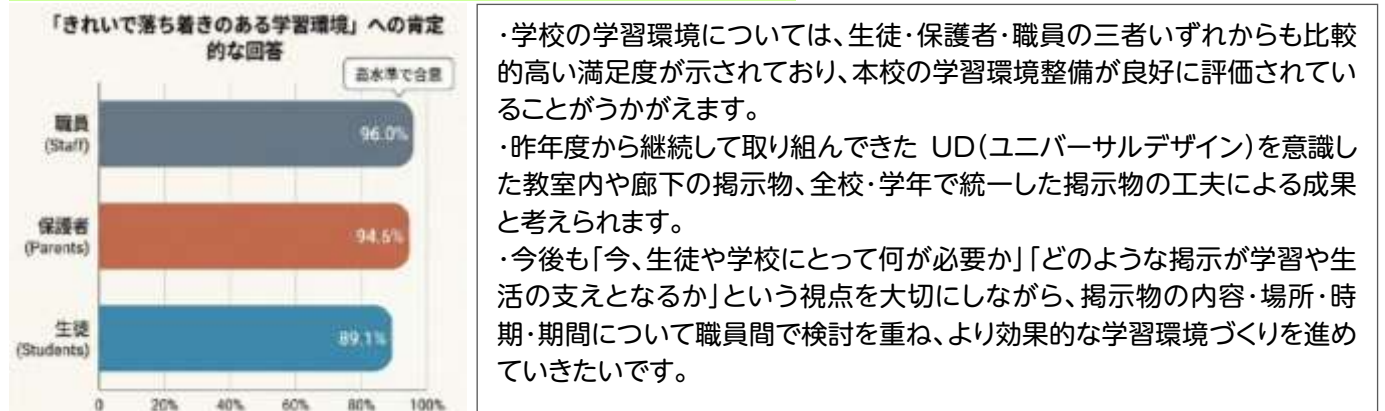
学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございます。結果についてご報告いたします。アンケート結果を参考にし、学校運営をさらに推進していきます。結果は、以下の通りです。回答率は、生徒86%・保護者74%でした。

I 学校について

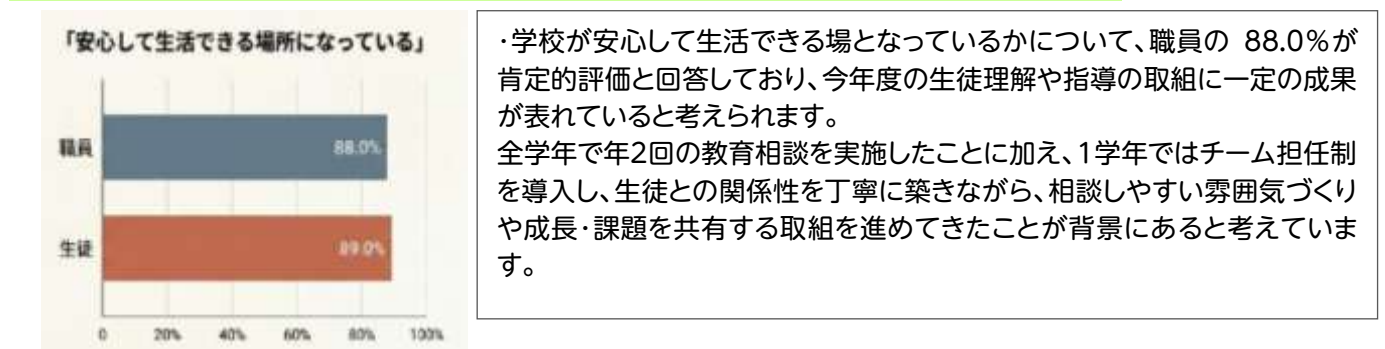
本校の教育活動や学習環境、安心して過ごせる学校づくりについては、生徒・保護者・職員のいずれからも概ね肯定的な評価が得られ、日々の取組が一定の成果を上げていることがうかがえます。一方で、教育活動の意図や成果の伝え方、保護者・地域との関わり方については、さらに工夫と改善を重ねていく必要があることも明らかになりました。



Q.学校は、きれいで落ち着いた学習環境を整えていますか



Q.学校は、子どもが自己の成長を実感でき、安心して生活できるような場所となっているか



Q. 学校は、教育方針や教育活動の様子をわかりやすく説明していますか



- ・昨年度からアプリ「tetoru(テトル)」を運用し、即時性のある情報発信を行っている。今年度は、主幹が中心となり「教育活動の様子」を毎週末に配信することで、早く正確に情報を届ける体制が整い、保護者から概ね良い評価を得ることができました。
- ・その一方で、「一斉同報メール」は登録のみで活用されおらず、また情報発信の経路が「tetoru」と「プリント」に分かれているため、配信手段の整理や役割分担について検討する必要があります。
- ・教育方針や教育活動が十分に伝わっていないと感じている保護者は 5.3%まで減少したものの、職員の評価は低下している。今後は、その要因や不十分さの背景を明らかにし、保護者・地域と協働しながら、より理解が深まる情報発信と教育活動の充実を図っていく必要があります。

II. 先生について

本校の教職員は、子どもたちを学びの中心に据えた授業づくりや、協働的な学習の工夫、生徒一人ひとりに寄り添った指導に継続して取り組んでおり、生徒・保護者から概ね高い評価を得ています。とりわけ、学び合いを大切にしたい授業や、相談しやすい関係づくりで一定の成果が見られる一方で、指導体制の工夫や取組のねらい・成果について、より分かりやすく伝えていくことが今後の課題として明らかになりました。

Q. 先生は、「話し合い活動」や「協働的な学習」の工夫など、生徒が主体となる授業づくりを心がけていますか



- ・「話し合い活動」や「協働的な学習」は、生徒同士が意見を出し合い、互いに考えを深めながら課題解決を図る学習です。
- ・本項目において、生徒の 95.5%が「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答しており、協働的な学習が日常的な授業の中に位置付いていることがうかがえます。
- ・この結果から、教師が子どもたちを学びの中心に据えた授業づくりを意識し、話し合い活動や協働的な学習の工夫を継続してきた成果が表れていると考えられます。
- ・今後も、学年や教科の特性に応じて学び合いの質を高める授業改善を進めていくことが求められています。

Q. 先生は、生徒の悩みなどに適切に応じて指導していますか



- ・生徒の悩みへの対応は、生徒・保護者・職員の三者いずれからも高い満足度が示されています。全学年で年2回の教育相談を実施するとともに、1学年ではチーム担任制を導入し、生徒との関係性を丁寧に築いてきたことが相談しやすい雰囲気づくりにつながっていると考えられます。
- ・一方で「あまり当てはまらない」「全く当てはまらない」と回答した生徒・保護者・職員も一定数いることから、実態により丁寧に寄り添い、誰もが安心して相談できる体制の充実を図っていく必要があります。

Q. 【1年生のみ】 1年生の数学科では、少人数での学習を実施しているが、効果があると感じるか
 【2・3年生のみ】 数学科ではチーム・ティーチングを実施しているが、効果があると思うか



1年生の少人数指導では、生徒の多くが学習効果を実感し、意欲や主体性の向上につながっています。また、保護者の評価に差があるため、取組のねらいや成果を伝える工夫が必要です。チーム・ティーチングについては、生徒・保護者の評価が昨年度より低下しており、支援の在り方を見直す必要があります。

Ⅲ. あなた自身について

今年度は、さまざまな学校行事や学習活動を通して、生徒が仲間と関わりながら学び、安心感や認め合い、支え合いを実感する場面が増えてきました。

学校生活を前向きに捉え、自ら考え行動しようとする姿や、困難な場面においても周囲の支えを受けながら乗り越えようとする成長が見られます。一方で、安心して過ごすための課題や生活の工夫については引き続き改善が必要であり、今後も生徒一人ひとりが自分らしく、意欲的に学校生活を送ることができる環境づくりを進めていくことが大切であることが明らかになりました。

Q. 小学校と中学校の連携により、授業や家庭学習習慣、生活習慣について、安心して生活できるよう、スムーズな接続の工夫がされていたと感じますか



- ・児童同士が直接交流する場面を複数回設定し、その内容を工夫・充実させることができました。
- ・1年生においては、「よく当てはまる」(48.5%)および「だいたい当てはまる」(47.1%)と回答した割合が合計 95.6%となり、昨年度を上回る結果となりました。小学生時に経験した異学年交流会や児童同士の交流が、中1ギャップの解消に寄与していることが示唆されています。
- ・保護者および職員からは、学びの連続性や生活習慣等に関する指導内容について、より一層の共有を求める声があるものと受け止めています。

Q. 新しい日課となり、時間を意識して過ごすようになったか



- ・生徒の 93.2%が「よく当てはまる」(50.0%)または「だいたい当てはまる」(43.2%)と回答しており、学年を問わず多くの生徒が、新しい日課に早期に慣れ、時間を意識して生活していたと捉えることができます。
- ・一方で、生徒の実感と職員の認識に差が生じている要因の一つとして、5分休みでは教室移動が間に合わない場面があることが考えられます。今後は、支障が生じないように、移動時間や校内動線の工夫など、具体的な方策について検討していく必要があります。

IV. 家庭について

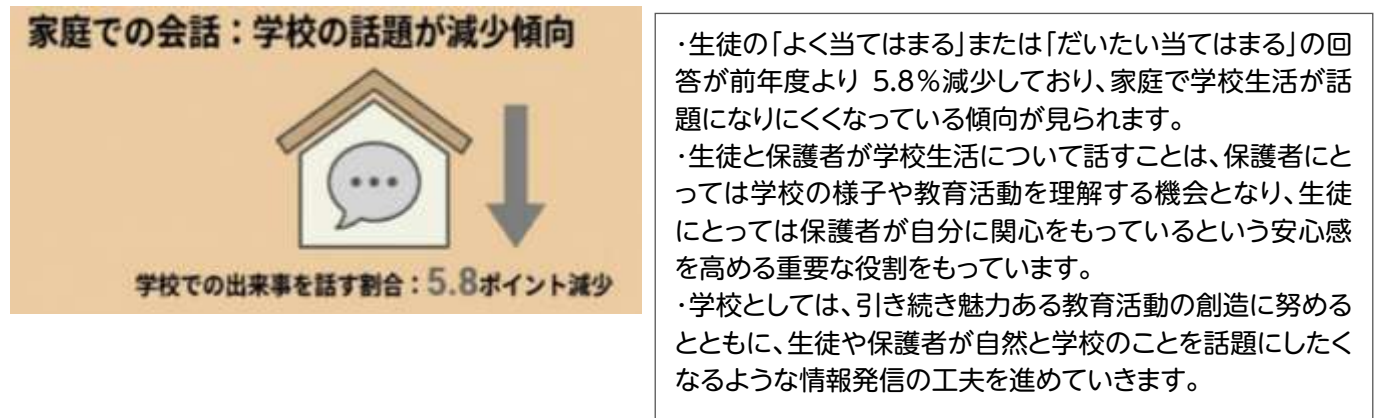
家庭での学習や生活の様子を見ると、自由に使える時間が増える一方で、家庭学習時間の確保や、学校生活について家庭で話し合う機会の減少など、生活の在り方を見直す必要があることが明らかになりました。

一方で、家庭と学校が日常的に連絡を取り合える環境は整いつつあり、今後は、家庭での声かけや関わりと、学校での学びや指導がよりつながるよう、連携を一層深めていくことが大切であると考えられます。

Q. 平日の家庭学習時間(学習塾などでの時間も含めて)を教えてください

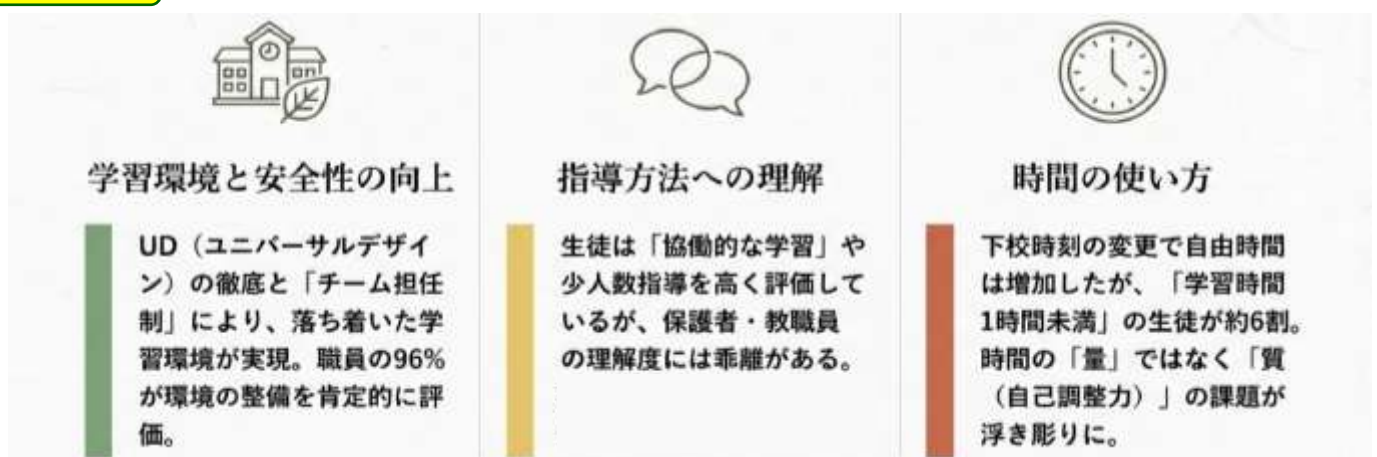


Q. 生徒は、学校の様子をご家庭で話していますか



全体総括

安心・安全な環境の確立と、学習指導の「見える化」への課題



アンケートの集約・分析を終えて

今年度のアンケート結果から、**本校の教育活動や学習環境について、生徒・保護者・職員**の三者いずれからも概ね高い支持をいただくことができました。

特に、UD(ユニバーサルデザイン)を意識した環境づくりや、生徒の95.5%が肯定的に捉えている「話し合い活動」を中心とした授業改善は、着実な成果として表れています。

一方で、下校時間の繰り上げに伴い自由時間が増えたものの、**家庭学習時間の確保や、家庭での学校に関する会話が減少傾向にあること**が大きな課題として浮き彫りとなりました。

今後は、高い評価を得ている教育相談やチーム担任制をさらに充実させ、生徒の安心感を高めるとともに、指導のねらいや成果をより分かりやすく発信していく必要があります。**「自ら課題を見つけ、仲間と協働して解決する生徒」の育成**に向け、学校・家庭・地域が一体となり、生徒一人ひとりの「やりたい」という思いを支えていけるよう、さらなる教育の質の向上に努めてまいります。

2月			3月		
日	曜	行事	日	曜	行事
2	月	スキー授業(2年②)	4	水	公立学校学力検査日(学力)
4	水	学力テスト(全学年・3年模試)	5	木	公立学校学力検査日(面接)
5	木	入学説明会	8	日	第3回英語検定本会場(2次試験)
6	金	スキー授業(1年②)	10	火	同窓会入会式 卒業式総練習 表彰伝達集会⑤
9	月	令和7年度研究開発校事業報告会 (授業該当学級以外、午前日課)	11	水	公立高校追検査 式場準備
10	火	公立高校推薦入学試験	12	木	第78回卒業証書授与式
11	水	【建国記念の日】	13	金	SC来校日
13	金	入試 私立A日程、SC来校日 第3回漢字検定	16	月	授業参観(学年懇談)④
14	土	入試 私立A日程	17	火	公立高校合格発表
16	月	特支学校合格発表、 鉄北地区家庭学習習慣(第4期～20日)	20	金	【春分の日】
17	火	入試 私立B日程	23	月	報告集会Ⅷ-Ⅷ(放課後) SC来校日
18	水	入試 私立B日程、職員会議	24	火	学年・生徒会報告集会(1,2年)
20	金	後期期末テスト(1,2年) 市内特支卒業を祝う会	25	水	修了式・離任式 表彰伝達集会⑥ 臨時職員会議
23	月	天皇誕生日	26	木	年度末休業～4月6日
27	火	SC来校日			